

作成：2022年2月13日

ペーパーホッケーのルール（2022年度版）

【ゲーム形式について】

ペーパーホッケーは、3人ずつのプレーヤーからなる2チームによって競技を行います。双方のチームは、相手チームのゴールにスティックを使いボールをシュートして得点を競います。

プレーヤーはルールに従い、ボールをどの方向にでもパスしたり、ドリブル及びシュートをしながら試合を進めていきます。

1、対戦方式

チーム戦（1チームのコート内競技者は3名とする）

2、勝敗形式

試合時間は、5分～8分のランニングタイム 1ピリオドとする

試合が同点で終了したときは、主催者側の判断により、Vゴール方式の延長戦や抽選などにより勝敗を決定する。

3、試合コート

13m～20m、幅 11m～15m、フェンスの高さ 10 cmほど。

4、ゴール

ゴールの大きさ 幅 1 m、高さ 90 cm が基本だが、主催者のゴール寸法を認める

【ゲームの進め方について】

1. フェイスオフから試合を行う。

※フェイスオフ…両チームが1名ずつ、ボールを取り合って行うスタート方法。

2. 得点は1ゴール1点とする。

3. 空中のボールは手でキャッチし真下に落とすことができる。

4. 反則の度合いに応じて以下の処置を審判がとり行う。

※ペナルティートショット…センターからゴールー無でシュートを打つ。他の者は 2m 後ろに待機しておく。

※フェイスオフ、試合を中断し審判の判断でフェイスオフでゲームを始める

退場…重度な反則な場合は退場処分となる。

【反則について】

1. キープ・ザ・ボール
ボール、パックを故意に踏んだりする事。
2. ハイ・スティック
スティックのブレード部分を腰よりも高く上げてプレーする事。
3. スライディング・プレー
手や膝をついたり、寝そべてプレーする事。
4. スローイング・ザ・スティック
故意にスティックを落としたり、投げたりする事。
5. スラッシング
スティックで相手のスティックを打ったり、過度に押えたり、持ち上げたりする事。
6. フロアスティック
スティックを床に付けてプレーする事
7. チャージング
相手を、押す・つかむ・タックル・蹴るなどの行為をする事。
8. スティック・イン・ゴール
スティックをゴールネットに触れてプレーする事。
9. プッシング・ザ・ゴール
ゴールポストを動かしたり、掴んでプレーする事。
10. オーバーコート
あまりにもコートを出してしまった時、審判は、ゲームを止めセンターでのフェイスオフを行う。
11. ストップング
急激にストップし床面にダメージができるような操作の事。

【用具について】

1. ペーパーホッケースティック
 - ★スティックは、段ボールを使い、止め金具などに注意し作成し補強をし過ぎて丈夫にし過ぎないこと
 - ★試合前、審判によるスティックチェックを行う場合もある、過度に強い物競技の趣旨からはずれて
いるものは、使用禁止が修正となる。
 - ★試合中のスティックの交換は、原則認めない。(折れないようにプレーする)
2. プロテクター
 - ☆18歳未満の参加者は、必ずエルボーパット、ニーパッド ヘルメット、は、着用を義務づける。
 - 手首ガードは個々の判断に委ねるが、付ける事を推奨する（身体保護の為ヒップパンツの着用が
好ましい）上記の条件を満たしていない場合、試合への出場を認めない。
3. 使用球、パック

☆使用球は、基本「フィールドフォース」のバッティング練習球を使用。

☆バックの場合は主催者が段ボールで作成 直径8 cm以内 厚さ3 cm以内。

以上